

令和6年度阿倍野区区政会議安全・安心部会でのご意見と対応一覧(令和6年7月16日開催)

[分類]
①当年度(6年度)において対応(対応済み含む)
②7年度に対応予定
③7年度では対応できないが、今後引き続き検討
④その他

番号	意見内容（要約） （公表）	対応（回答） （公表）	分類
1	【防災ジュニアリーダーについて】 防災ジュニアリーダーを維持、増員するため、例えば防災ジュニアリーダーのユニフォーム作成の際、当事者に選考委員になってもらったり、防災ジュニアリーダーに登録することで得られる楽しみなどを区役所で工夫して発信すれば、防災に意識をもって活動してくれると思う。 防災ジュニアリーダーを募集する中で、年2回の防災ジュニアリーダー訓練に体験参加させてはどうか。 地域防災リーダーを増やすために、防災ジュニアリーダーを卒業した方や、自身の出身校の卒業生や友達なりに、声をかけて、地域防災リーダーの勧誘をすればどうか。 (東野委員)	防災ジュニアリーダーは当区が他区に先駆けて取り組んできた制度であり、装備品もポロシャツのほかに日常でも使ってもらえるようなキャップやウインドブレーカーもお渡ししています。 また、募集については、区内中学校でのポスター掲示や、YouTubeでの訓練映像の発信、小学校6年生への周知なども行っています。 訓練内容は消防署の協力もいただき、楽しいという要素も大切にしながら実施しています。 防災ジュニアリーダーを卒業後は、地域の防災活動に流れていくような仕組みづくりが必要だと感じています。ただ、この間、地域のまちなか訓練に参加してもらえたり、防災イベントに参加してもらったりする事例も出てきており、こういった流れを高めていくことが大切だと考えます。 防災ジュニアリーダーの周知については、友達を紹介してもらう取組みを進めています。また、体験訓練のような手法も取り入れ、防災ジュニアリーダーの維持・増員につなげてまいります。	②
2	【若年者層の防災訓練等への参加について】 区役所若手職員の方が、防災訓練や地域の取組などをTikTokで発信すると若年者層はもっと興味を示すと思う。 区役所のX(旧ツイッター)は、質問しても返ってこないの、若い人は興味を持たない。せっかくいろんな動画やSNSで発信しているのであれば、区役所は、受け取るだけでなく、もっと積極的に活用してほしい。 (東野委員) 各地域で防災訓練、避難訓練等に参加している年齢層は、ほとんどが高齢者で、若い世代の方、あるいは子育て世代は少ない。訓練に参加することで、意識づけにもなると思う。 (森尾委員) もっと参加したくなるような楽しい訓練なら若年者層も参加するのではないか。 防災ジュニアリーダーたちが地域の訓練に参加して、若手や女性消防士を交えて、フランクに話せる時間やどんな訓練だったら参加してみたいかなど、アンケートしてみるのもいいのではないかなと思う。 (東野委員)	令和4年度より防災ジュニアリーダー訓練の様子をYouTubeにアップし、若年者層に関心を持ってもらえるよう取り組んでいます。 防災ジュニアリーダー訓練は令和4年度から消防署の協力を得て体験を重視した訓練内容に変更しています。アンケートでもこういった体験型の訓練は喜ばれており、災害に対する体験を楽しく、かつ真面目に取り組んでもらえるよう工夫しております。	①
3	【災害時における初期初動の大切さについて】 数年前の台風上陸の際に、消防署の迅速な対応や、停電を3日程度で復旧したこと、また、区役所がブルーシートを配布していたことなど、災害直後の行政や警察・消防などの連携は大変大事であると思う。 大阪北部地震の時、我々の業界の高槻あたりから水と米の要請があり、近隣の商業施設からトップの判断で物資を提供してもらい、送ることができた。地域や区域を越えていろいろな組織が動くことが非常に大事であり、そのために防災ジュニアリーダーも含めて日ごろからの取り組みが大切である。 (中山委員)	発災直後の行政と地域の自主防災組織の連携はもちろん、区内事業所など、区総体として災害対応にあたるのが極めて大切であることをしっかりと踏まえ、今後とも防災施策を進めていきたいと考えます。	④
4	【地域防災リーダーの女性割合について】 女性リーダー26名はどのように登用され、年齢構成はどうなっているのかなどを教えてください。 (谷口委員)	地域防災リーダーは各町会から推薦していただく仕組みになっています。女性リーダーは20代から70代で構成されており、平均年齢は60.08歳となっています。	④
5	【交通ルール・マナー及びヘルメット着用促進にかかる周知について】 交通ルール・マナーの促進について、有名人や、阿倍野区住みます芸人を使ったSNSや動画配信でPRしてもらうのはどうか。以前に、オリックスのOB選手が参加する「あべのウォーク」があったかと思う。こういった有名人などを利用したPRが有効だと思う。 (東野委員) ヘルメット着用促進については、自動車運転免許証の更新時に、事故動画などを用いた指導を行っているの、ヘルメット未着用時の事故などの動画を作成して周知すれば、着用率もあがるのではないかなと思う。 大阪府警の「安まちメール」は、阿倍野警察も配信しており、この情報が犯罪被害の予防に相当威力を発揮している。子どもへの犯罪対策として、区役所で巡視をしている。また、子ども110番の取組みも犯罪を未然に防止していると思う。 自転車の事故防止のための交通ルールの遵守、マナー向上は当たり前のことだが、阿倍野区も外国籍の留学生、就労の方が増えてきており、国情が違うことから、外国籍の方に向けた交通ルールやマナーなどのチラシを配ってもいいのかなと思う。 ヘルメット着用の問題も、自転車販売時に、特に高齢者の方を中心に着用を促してる。ヘルメットの着用を一つの習慣にしたら、ヘルメットがなくてはならないという気持ちになるので、ぜひかぶっていただきたいと思う。 (中山委員)	SNSや啓発動画に阿倍野区住みます芸人を活用したPRは、他の取組でも行っておりますので、今後、交通ルールやマナーおよびヘルメット着用促進動画作成に関しても阿倍野警察署とも連携し、検討してまいります。 外国籍の方に向けたやさしい日本語表記のチラシについては、一部、区広報掲示板、市民学習センターにて配付しております。今後、日本語学校等に配付できるよう内容も含め検討してまいります。	②
6	【特殊詐欺被害防止について】 災害発生時や、還付金詐欺などのいわゆる特殊詐欺といった犯罪に関して、情報を迅速にかつ正確に伝えていく必要がある。提案としては、阿倍野区としての防災防犯アプリの充実。頻繁にアポ電がかかってくる状況の中、やはり正しい情報を迅速に伝えることはすごく大事だと思う。ぜひアプリの充実をお願いしたい。 (小川委員)	犯罪に関する情報でいえば、大阪府警から配信されている「安まちアプリ」があります。住んでいる地域を登録すると、その地域の防犯情報が配信されます。また、防災の情報が配信される「大阪防災アプリ」では、地域の気象情報ははじめ災害時における避難所施設情報が配信されます。これらのアプリは、阿倍野区の情報も掲載されておりますので、活用いただけます。 必要に応じた情報につきましては、区のX(ツイッター)等SNSにて引き続き配信してまいります。	①

[分類]
①当年度(6年度)において対応(対応済み含む)
②7年度に対応予定
③7年度では対応できないが、今後引き続き検討
④その他

番号	意見内容（要約） （公表）	対応（回答） （公表）	分類
7	【町会加入について】 マンションの住民と、地域、連合町会の方とのリンクが何もないように感じる。近くの小学校での催しなどは見に行くが、よそ者が来たみたいない感じで入りにくく感じる。阿倍野はマンションが非常に増えているので、古くから居住されている方や連合町会の皆さん方の活動というのが、マンションの住民ともう少しリンクするような形で活動を広げていただけたらと思う。 （谷口委員） 催しの案内などを、マンションの方にも働きかけようとするが、オートロックが多くて訪問も難しく、なかなか参加してもらえない。 老人会や振興町会に加入しない方が増えており、どうしたら加入してもらえるかと加入しない方にお聞きできれば、もっと加入してもらえらえると思う。 （森尾委員） 私は、マンション全部の部屋に声をかけて、町会の活動を説明している。ちょっとずつやっていくしかないなと思う。 （東野委員）	本年3月に「大阪市町会加入促進戦略」を策定し、加入率が低下する町会への加入をどうすれば上げていけるかということ、そのための目標を掲げて取り組みを進めています。 いただきましたご意見については、町会加入促進戦略にもとづく阿倍野区のアクションプラン策定にあたり、町会へもお話をさせていただき、どのような進め方があるかについてお互いの意見をすり合わせていければと考えます。	①